

第2回大学訪問

高等職業研究会(主宰:山本雅淑教授)

会長:牧野 直紀

事務局長:江澤 匠

副会長:渡辺 太輝

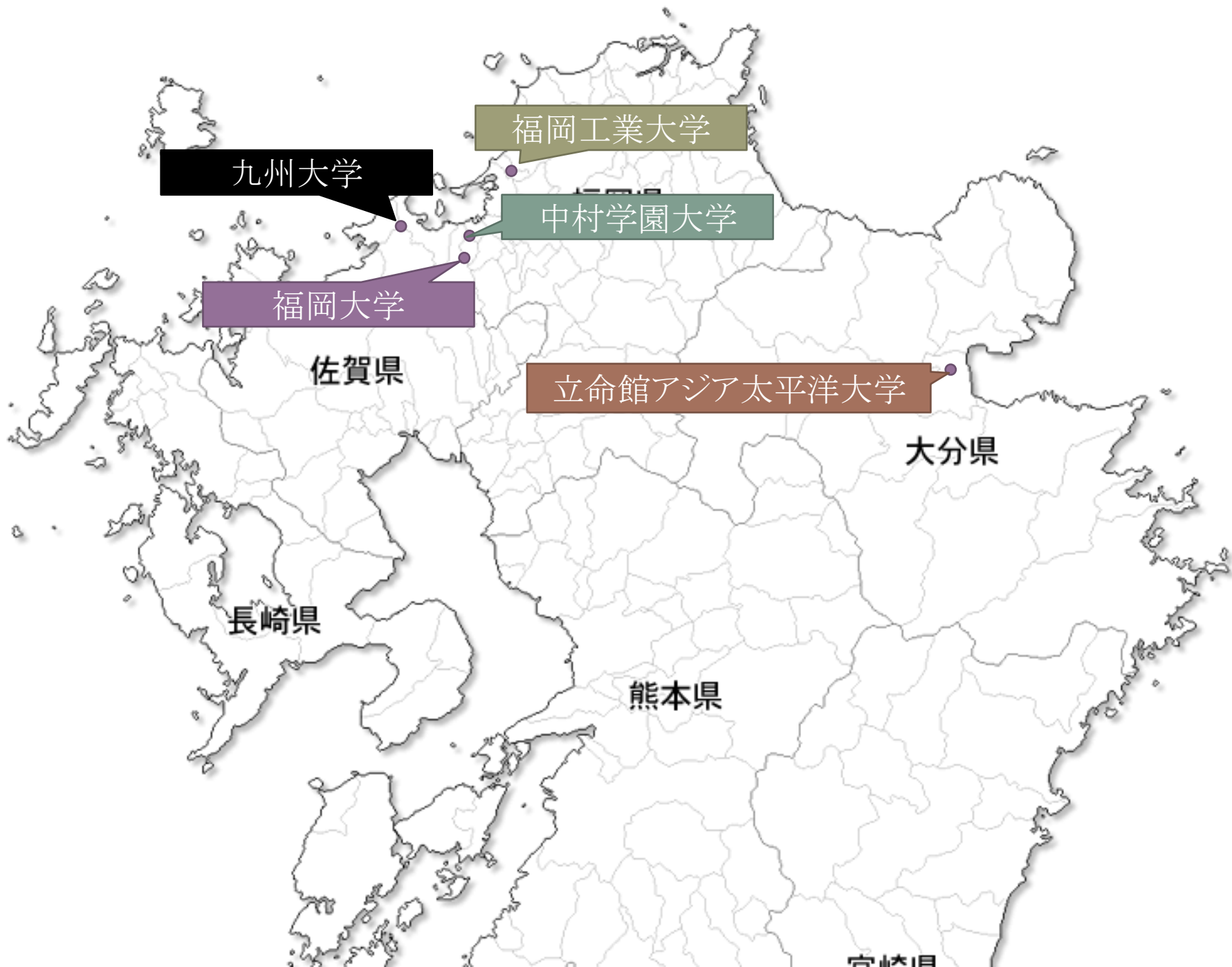
事務局次長:斎藤 浩樹

概要

1. 第1回からの学びと反省
2. 訪問大学全体の特徴
3. 各大学の紹介
4. 結論

1. 第1回からの学びと反省

- ◆ 平成26年8月、第1回大学訪問から約7カ月
- ◆ 訪問した大学には必ずいくつかの特色があった。その上で、大学ごとの特色を世間にどのようにして伝えるかが重要であると第1回大学訪問から学んだ
- ◆ 今回はその点も踏まえ、大学の広報にも注目した



九州大学

福岡工業大学

中村学園大学

福岡大学

立命館アジア太平洋大学

佐賀県

大分県

長崎県

熊本県

宮崎県

2. 訪問大学全体の特徴

- ◆ 訪問先の大学

福岡大学、中村学園大学、九州大学、
福岡工業大学、立命館アジア太平洋大学

- ◆ 東アジア諸国との関係が多い

地理的関係の強み

中国・韓国等の東アジア圏

第三言語によるコミュニケーション能力の向上

◆ 地域独特のまとめ

九州内での進学先といえは福岡という考え
大学同士で、学生募集の範囲が被らない

◆ 妥当な大学数？

◆ 挨拶、礼儀が徹底されている

◆ 比較的、認知広告が少ない

◆ 立地面積が東京と比べ大きい

◆ 多くの大学で課室等がワンフロアにまとまっている

学生支援センター

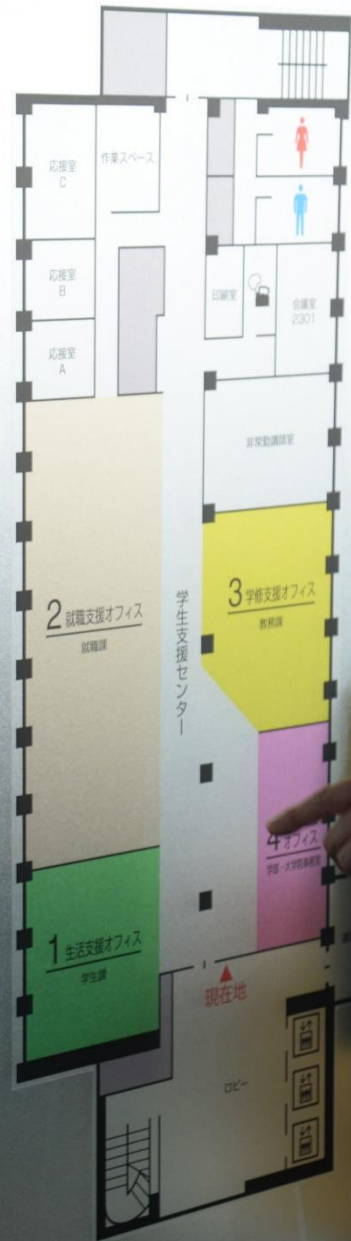
ご案内

1 生活支援オフィス
学生課

2 就職支援オフィス
就職課

3 学修支援オフィス
教務課

4 実習支援オフィス
学部・大学院事務室



3. 各大学の紹介



福岡大学(3月9日)



中村学園大学(3月10日)



九州大学 伊都キャンパス(3月10日)



福岡工業大学(3月11日)



立命館アジア太平洋大学(3月12日)





大学の特徴

地方の大規模大学

文系理系(医学)の融合

人間力...学生数の多さがコミュニケーション能力の向上につながり、交流に強い環境や壁にぶつかることの多さが人間力を養わせている

FSP→事務職員が立てた企画、正課外授業

職員用のパンフレット

「地域と共にあり、活動する大学として
地域を大切にしたい」

良かった点

福岡大学

交流力・学祭による学生の自主性

大学が一ヶ所に集中していることで、他学部から学生は様々な刺激を受ける

駅から近い、駐輪場・駐車場が広い

スポーツ含め、様々な活動を行える環境が整っていた

特徴的な広報

「学問の府」としての堅い広告

ブランド・
信頼力の
高さ

人を使っ
た広報

卒業生を
利用した
対外
アピール

魅力・苦楽

日本の為に学生が活動すること、それが国づくりの一端を担っていると認識させてくれる

苦 教員との対話、モチベーション維持の難しさ
→対応策：事務職員研修体系マップ

楽 学生からの感謝、やりがいある計画の達成

職員像 これからの大学

福岡大学

忍耐力・上下
関係の把握力

人間関係の
構築力

縁の下の力持
ちだが、積極
性を忘れない

大学数の増加

細分化→より専門的な
大学

教育に対するニーズは消えない





大学の特徴

管理栄養士合格者数* 全国2位 「食の中村」

収益事業 給食関係 カフェバーカリー 食品産業面に重点を置く

就職支援にもつながる

競争相手がいないが故に改革の力が弱い

月二回の教員と職員の朝礼

学生が来やすい一まとまりになった課室フロア

* 第28回管理栄養士国家資格試験結果

良かった点

挨拶の重要性→誰であっても挨拶

食育の大切な 一汁三菜の心得→学園祖の遺志

日ノ丸を掲げている→私立大学であっても日本の教育機関であるという意識の表れ

福岡市中心付近にあるキャンパスの立地

特徴的な広報

学生の選ぶ目標に対する学生募集

認知広告
を殆どし
ていない

メディア
を利用し
た広報が
多い、
プレスリ
リース

保護者を
意識した
広報が
多い

専門雑誌、
OCにも
力を入れ
ている

理事長や
学長が自
ら宣伝雑
誌に載る
→**トップ**
広報

魅力・苦楽

装置産業→巨額投資

苦 危機感の少なさや教員の意志の固さ、学生に社会人スキルを付けさせることが難しい

楽 季節感が感じられる、若い人を見れる→一方で学生の対応が大変

職員像 これからの大学 中村学園大学

能動的な
人材

仕事のやりが
いを見つける
人材

社会が求める
学生像を探求
出来る人材

学生の為に
働ける人材

「常に自分を磨いていくこと。自己啓発の力を一
生持ち続けてほしい」

大学に求められて
いるものは？

ステークホルダーにどう求
められているかを考える

産官学連携を重要視する





大学の特徴

21世紀プログラム→1人1人の専門分野

九州の東京大学

他大学を圧倒する広い敷地面積→四つのキャンパスに分散されている

約400万冊の蔵書数を誇る図書館

国立大学の中でも特に理工系に強い大学

良かった点

施設等の環境が整っている

教職員の人数が多い(それぞれ
2000人以上)

国立大学にしか出来ない学費や
学生募集の強み

特徴的な広報

大学全体に対する広報

総合大学の
魅力を
伝える

進学率自
体を上げ
るための
広報活動

私立と違
い広告に
予算を
割けない

OCに
よって大
学の
在り方を
伝える

魅力・苦楽

百年の歴史が行動の原動力に

苦 人材育成の難しさ→大学教員の理解の度合い、若手の入り込みにくさ、後継者育成

楽 九州大学というネームバリューで食べていける

職員像 これからの大学

九州大学

全員が意見・
主張をもって
発言する

大学に入る意味の
理解

大学数・大学費用の削減

国立大学も準国立と国立にして学費の
補助に差をつける

私立の推薦・AOの節操のなさ→大学のサポートは
制限してよい

「大学を必須にする必要はない、必要な時に大学
で学ぶために入る場所にする」



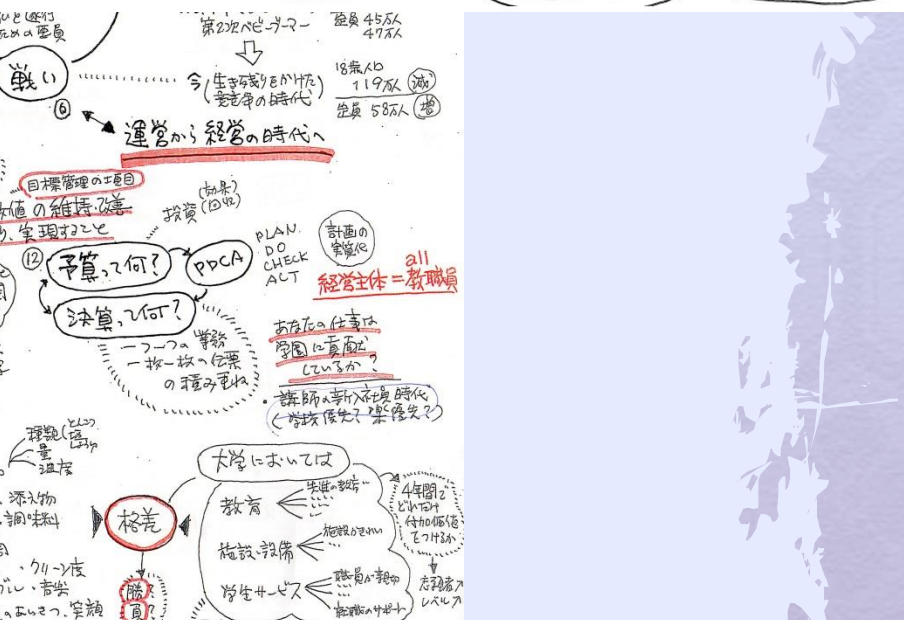
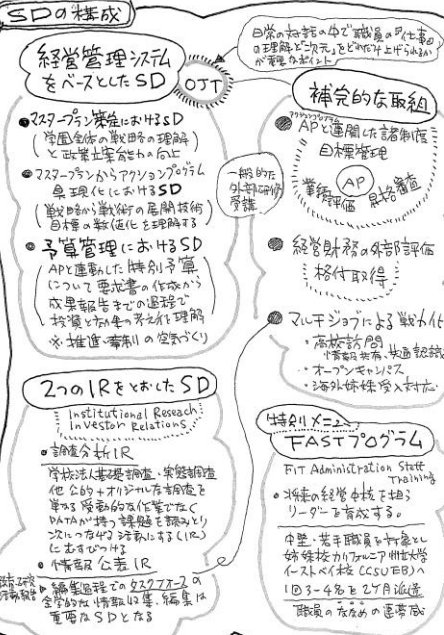
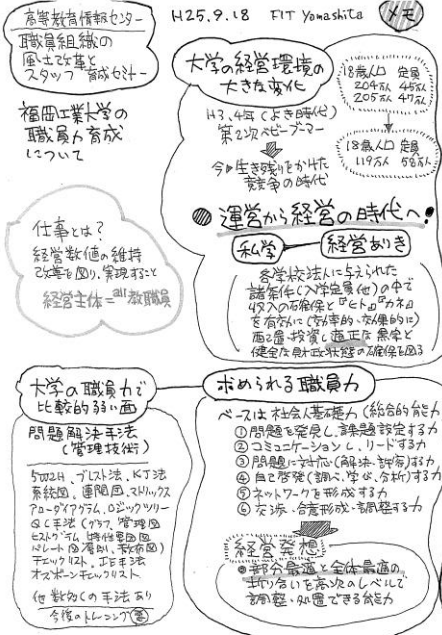
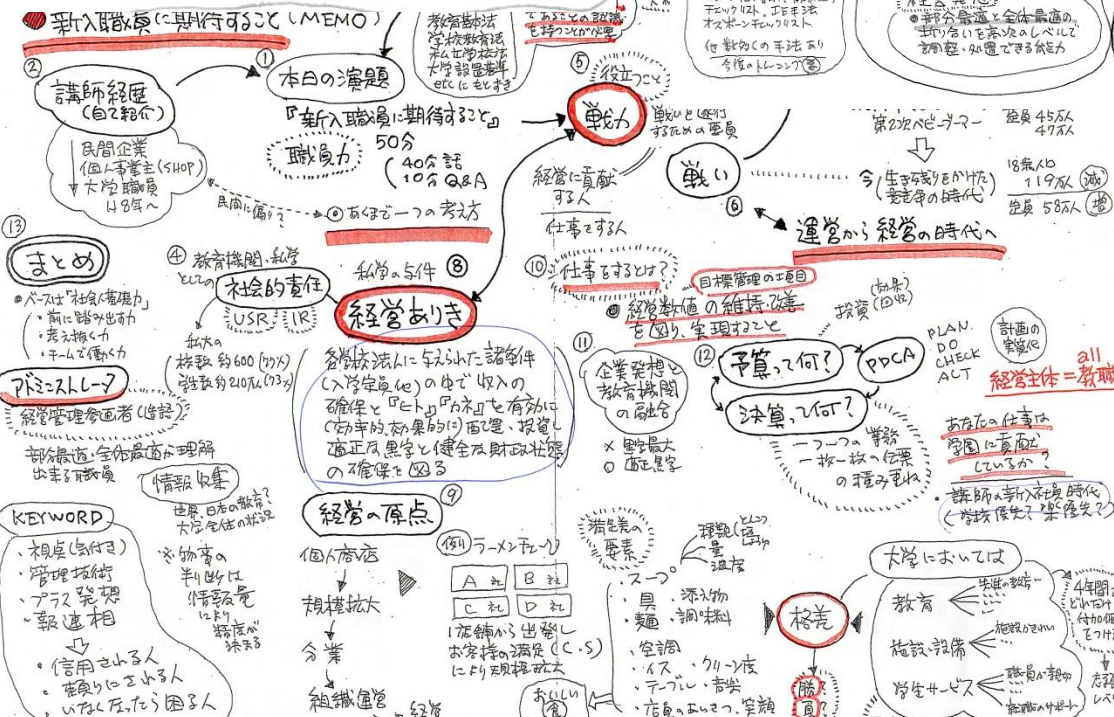




FIT 福岡工業大学

研修メモ集

H27.3.11
T. Yamashita



大学の特徴

中長期計画(マスタープラン)

実現可能な中長期計画が重要

陪席・発言を全職員自由にして、議事録を作成する

→誰にとっても文句の言えない中身に

新人教育の重要性

私学経営の考え方『運営から経営の時代へ』

教職協働→職員の理論武装が重要

外部評価などを利用して理論を作る

良かった点

学生や保護者に対するお客様という精神

→職員の殆どが中途採用者
(企業から大学)

企業人としての見方

For all the studentsという理念に基づく学校運営

仕事に対する定義

仕事とは経営の数字をよくする人

特徴的な広報

選択と集中

マーケットを絞った
の
広報活動

イメージ
広告
地元重視

福岡工業
大学の
ファンを
増やす

メディア
→新聞

キャンパ
スサミット
による2カ
月に1回
地域連携

「愛される大学でなくても、嫌われない大学であればいい」

魅力・苦楽

魅力 流通出身の身として、職場環境は良い

活動の結果は4月で決まっている

縦と横のつながりが強い

苦 仕事の成果がすべての学生の為となるかを考え抜くこと

楽 学生が育つ喜びを味わえる

職員像 これからの大学 福岡工業大学

社会スキルを身に付けた人材を求めている。

科学的な発想をしてほしい

手法・ツールを、
培って使いこなせる人材

環境変化に柔軟に対応できる人材

仕事へのメリハリ

先読み

国の方針や考えを読み、補助金をしっかりとって、活用する

比較的近い将来計画→5年計画を立て、3年で見直す



Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University



大学の特徴

約半分が留学生 最大100ヶ国・地域の国際交流

→90%が正規学生

書類・エッセイ・面接・統一試験・高校在学時の成績

(現地面接。少人数の場合はSkypeを使う)

二言語授業や英語での会議

学生寮:二人部屋では、必ず別の国の人同士を組み合わせる

企業ごとの書籍を公開している図書館

良かった点

設置前の文科省の心配から、
現在は逆転した立場に

学生部の利便性(留学生に対しても)

煙草の吸殻本数の掲示による
マナーアップ

言語力→日本語、英語、+α

「入口より出口の需要を考え、流行で動くのではなく、社会が何を求めているかを考える」

特徴的な広報

広範囲への呼び込み

海外への
広報

高校で
英語や
現地語
を使う

APU
ブランド
の構築

広告費
自体は
少ない

魅力・苦楽

教職協働の大学運営

学生・教員・職員それぞれのつながりが強い

流動性の高さ→歴史の無さが生める多様な改革推進力

苦 英語使用の重要性、常に変革し続けないと苦しい、春・秋の年2回入学・卒業のため忙しい

楽 多様な文化に触れられる

職員像 これからの大学

課題発見能力

前例にとらわれ
ない視野

改革精神

スチューデント・ファーストの
視点

事務処理能力

出口から考える社会

高校ではなく、社会が何を
求めているかの把握

各大学が先に進んだ特徴を明確に出
す

偏差値・大学のブランド・歴史よりもマーケットを重視

3. 結論

- ◆ 地方の強い結束力
- ◆ 九州は独自の地域として、独立して学生募集が成り立っている
- ◆ 留学におけるアジア各地と近い土地
- ◆ 前回の反省から、補助金に対する考え方を聞いた結果、大学ごとにかなりばらつきがあった
- ◆ 企業から大学へと転職する経験、中途採用の割合が比較的多い